

セメント系高流動無収縮充填材
ビルモル グラウト

～水で練って流すだけの高品質・一材型の高流動性充填用モルタル材～

[ビルモル グラウト]

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0810026
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

[目 的]

この施工マニュアルは「ビルモル グラウト」の施工に当り「品質の維持」を確保するためのマニュアルです。

[用途・適用下地]

- ・ 「ビルモル グラウト」は各種機械基礎部分や鉄骨基礎部分の橋脚鋼板巻き立て等、狭い空隙に充填する既調合モルタルです。
- ・ コンクリートやモルタルなどの床下地面

[特 長]

練混ぜ後、流し込むだけで狭い空隙に隙間なく充填できます。また、無収縮性なので上部構造物に密着できます。

[規格・法令]

「ビルモル グラウト」は、一般社団法人 公共建築協会
「鉄骨柱下無収縮モルタル」における評価品です。

[使用材料]

- 「ビルモル グラウト」 正味重量 25kg 防湿紙袋入り
- 「NICE ラテックス#45」 18kg (ペール缶)

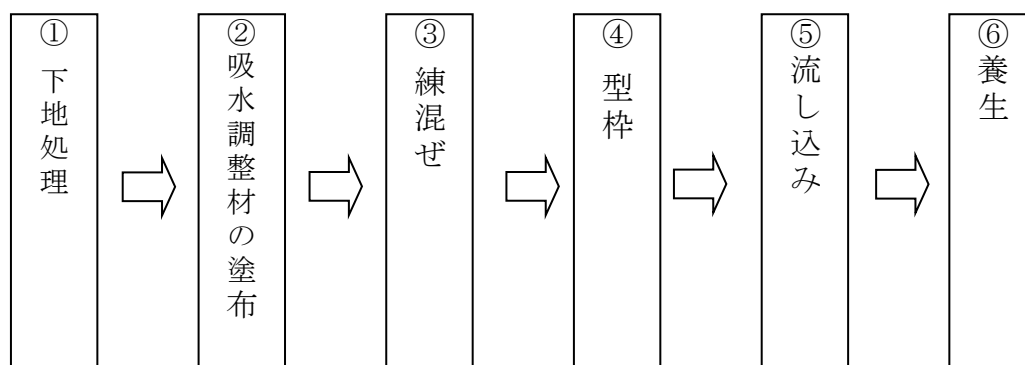
[調 合]

「ビルモルグラウト」	1袋 (25kg)	上水道水	約 4.25ℓ
------------	-----------	------	---------

「NICE ラテックス#45」	NICE ラテックス#45 : 清水 = 1 : 4
18kg (ペール缶)	※NICE ラテックス#45 の 5 倍液

施工 1 m ³ あたりの「ビルモル グラウト」必要量(袋数)の一例			
条件	}	① 水量	: 4.25ℓ
		② 単位容積質量	: 2.18kg/ℓ
		② 練り上がり量	: 13.4ℓ /袋
			⇒ 75 袋/m ³

[施工方法]



① 下地処理

- 1) 下地のレイタンス、脆弱部分はワイヤーブラシやサンダー掛けで除去・清掃して下さい。油分の汚れは清掃等で十分清掃して下さい。
- 2) 流動性が高い材料につき、流出を防ぐため型枠等の間隙は適切に漏れ止め処理を行って下さい。
- 3) 躯体温度は40℃以上にならないように注意を払って下さい。

② 吸水調整材の塗布

- 1) 吸水調整材「NICEラテックス#45」（アクリル系）1に対して清水4の割合で混合し5倍希釈液とし塗布して下さい。
- 2) 「ビルモル グラウト」と下地との接着力増大のため刷毛で2回塗布して下さい。
- 3) 1回目の塗布が乾燥してから2回目の塗布をして下さい。
- 4) 2回目の塗布が乾燥してから「ビルモル グラウト」を施工して下さい。

③ 練混ぜ

- 1) 「ビルモル グラウト」1袋（25kg）に対して、標準水量約4.25ℓで練混ぜて下さい。
- 2) 約20ℓ程度が練混ぜられる容器に標準水量の水を入れておき、モルタルハンドミキサーで攪拌しながら「ビルモル グラウト」を少しずつ投入し、3分間以上攪拌して下さい。
- 3) 練混ぜた材料は30分以内で使い切るようにして下さい。

④ 型枠

- 1) 型枠組立てにおいては、型枠の間隙は完全に塞いで下さい。
- 2) 型枠のハラミを防止するため、堅固に組み立てて下さい。
- 3) 充填箇所が深い場合は、注入箇所端部に空気抜きを設けて下さい。
また機材基礎等、平面上の打設については注入口の反対側に充填高さより高い位置に空気抜き口またはオーバーフローを設けて下さい。
- 4) 型枠の材質が鋼製の場合は必要に応じて剥離剤を塗布し、木製の場合は防水剤または撥水剤を塗布しておいて下さい。

⑤ 流し込み

- 1) 流し込みは一方向から行き空気抜き口から「ビルモル グラウト」があふれるようにして下さい。
- 2) 小規模の場合、流し込み容器は水さしのついたバケツまたはジョウロ等、適切なものを使用して下さい。
- 3) 中規模、大規模の場合、流し込む方法はモルタルポンプにて圧送すると作業効率が上がります。この場合は前もってモルタルポンプの水運転を行い、ホッパーやホース内湿潤状態にして下さい。

⑥ 養生

- 1) 施工終了後、ビニールシート等で覆い、風や直射日光等急激な環境を防いで下さい。特に夏期の施工では、乾燥、ひび割れ、ドライアウト防止の為にシート養生されることを推奨いたします。
- 2) 本品はセメント製品であるため低温・降雨・降雪・水濡れ・結露等により、白華(エフロレッセンス)が発生する場合があります。適切なシート・保温・採暖養生等を行って下さい。

使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

既調合品の為、指定材料以外のものを練混ぜないで下さい。なお、練混ぜには上水道水を使用して下さい。

1. 練混ぜた材料は夏期 1 時間、冬期 2 時間以内に使用して下さい。練足しや加水しての練戻しをしないで下さい。
2. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
3. 本品使用時の施工は、気温が 5℃～35℃の範囲内で行ってください。
4. 製品の製造年月日を確認し、製造から 6 カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
5. 下地コンクリートが、JASS 5〈鉄筋コンクリート工事〉の標準を満たしていない場合は施工を避けて下さい。
6. コンクリートブロックに施工される場合は各営業店にご相談下さい。
7. 悪天候（降雨、降雪等）、またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

取扱い時の安全対策（概要）

・ 取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取り扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。
2. 製品の保管は、セメント同様の取り扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

・ 応急処置

〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低 15 分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気のある場所へ移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔飲み込んだ場合〕

水でよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

・ 濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

・ 廃棄上の注意

廃棄する製品や練混ぜ材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

・ 輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー



株式会社 豊 運



本 社 〒546-0003
大阪市東住吉区今川 3 丁目 12 番 4 号
TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133
URL:<http://www.ho-un.co.jp/>

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004
西日本営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133

改訂 2019/06 第 5 版